

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本方針

広い視野をもち、心身ともに健康で、創造性と実践力に富む心豊かな児童の育成を目指す。

(2) 具体目標

【時代を拓く日本人を育てる】

○ よく学び考える子

○ 思いやりのある子

○ たくましい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立140年の歴史や伝統、そして豊かな自然や文化に培われてきた本校で学ぶ全ての児童に対し、全ての教職員が知識・技能・能力を結集し、教育目標の達成を目指す。そのためには、一校一家の校風のもと、全ての教職員の和と信頼を以て、児童・保護者・地域の方々と協和し、創意と工夫・活力に満ち充実した教育活動を展開していく。また、開かれた学校づくりを目指すため、地域や家庭との相互理解に基づき、地域の教育的資源を三育（共育・協育・響育）精神をもって活用しながら学び合い、喜び合い、励まし合う教育実践に取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

○（1）楽しく居がいのある学校づくり

○（2）生きる力を育む教育実践

○（3）社会性の育成

（4）開かれた学校づくり

（5）自己研鑽及び経営組織の活性化

【古里地域学校園教育ビジョン】

夢や希望をもち、その実現に向けて、よく考え、自ら鍛え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身に付ける児童生徒の育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

○確かな学力の育成のための基礎基本の定着と、開かれた学校づくりを推進するための地域の教育力資源の積極的活用

【学 習 指 導】

○自分の考えをもち、進んで学び合い、表現する力の育成と基礎基本の定着

【児 童 生 徒 指 導】

○相手の気持ちを考え、正しく判断し行動できる児童の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

○健康・体力の向上を目指し、元気で安全に生活しようとする児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「自分は今の学校が好きである」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 各行事や児童会活動を工夫し、児童が主体的に活動する場を設定するなどの活性化を図る。 ② 児童の心の安定や居がいのある場所づくりをするため、「先生とお話ししよう週間」を効果的に実施していく。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 94.6%で指標を上回った。 - 縦割り班活動や児童会活動での異学年交流活動などの場の設定により、自他を認め合う雰囲気ができがりつつある。 【次年度の方針】 - 年2回の教育相談の時間の確保や各種行事、児童会活動の工夫により、児童の自己肯定感や主体性を高める取組を継続する。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 授業のねらいを明確にして教室等に掲示するなど、学習に対する意識化を深められるよう工夫する。 ② 日々の構造的な板書や校内での一人一授業の実施により、児童が意欲をもって学習に取り組めるような指導法を工夫していく。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 96.4%で指標を上回った。 - 授業公開や校内研修、学力向上研修を行い、ねらいの明確化や授業の振り返り、主体的な学びにつなぐ課題や発問の工夫等、教員個々の授業改善プランに基づく授業づくりに努めた。 【次年度の方針】 - 校内研修や個人研修に努め、児童の学力の成果や課題を全職員で検討・共有する機会を計画的に実施して指導法をさらに工夫する。
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 毎月、学校全体の生活目標から、学級ごとに生活目標を設定し、<u>児童に具体的な生活目標をもたせることにより、基本的な生活習慣の徹底を図る。</u> ② 大きな目標から週の生活目標へとスモールステップ化や、また毎月の朝会や集会活動等で振り返りを行うなど、細やかな指導を行う。	A	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 81.7%であったが、保護者・地域住民の肯定率は 90%以上だった。 【次年度の方針】 「白沢小生活の約束」をもとにけじめのある生活ができるように指導を継続する。また、自己評価の実施により児童の意識は高まってきたので、指導を継続する。 - 教職員による毎月の振り返りや職員会議での情報交換を通して一貫した指導を続ける。
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① ティーム・ティーチングや習熟度別学習の工夫、かがやきルームの活用により、児童一人一人に応じたきめ細かな指導をする。 ② <u>基礎力を養う朝の学習「プロジェクト S」での毎月の確認テストの実施</u>及び国語・算数の密接な関連により、分かる授業に努める。	A	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 94.6%で指標を上回った。 - 児童は習熟度別学習のコースの特性を理解し、選択・学習できるようになってきた。 - 特別支援学級、かがやきルームとの連携を密にし、個のニーズに応じた指導ができた。 【次年度の方針】 - コースの特性を生かす指導方法を研究するとともに、習熟度の幅をもたせた少人数学習による学び合いを取り入れて学力の向上を図る。

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集の実施などにより、児童への意識化を図る。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 96.4%で指標を上回った。 ・いじめアンケートの実施や教育相談の実施、いじめゼロ強調月間における標語の作成などにより、児童の意識を高めることができた。 【次年度の方針】 ・学校だよりやHPによる保護者への啓発だけでなく、道徳の授業実践による児童への意識化、学年だより等での発信等により児童や保護者の意識を更に高めていく。
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。 【数値指標】 全体アンケート「私の学校生活や様々な活動は充実している」⇒児童肯定的回答 90%以上	① 昨年度の反省をもとに、日課や行事等の見直しを図り、適切に実施する。 ② 行事毎に実施している評価・反省から改善のための検討を行い、次年度に活かす。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 93.9%で指標を上回った。 【次年度の方針】 ・今後も各種行事の評価・反省を継続して教育活動の工夫・改善を図り、学校全体の活性化を図る。
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校一日公開や毎月の各種便りの発行、学校の様子を学校HP掲載により、保護者はもとより、地域住民にも情報を提供する。 ② 地域協議会やPTAとの会議で学校の取組みを説明して情報を共有するとともに、課題についても意見交換を行い、取り組んでいく。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 96.5%で指標を上回った。 【次年度の方針】 ・各種便りの発行やHPの更新により、地域住民や保護者への積極的な情報提供を継続する。 ・地域協議会、PTA会議、学校公開日のアンケートなどでの提案や要望を受ける機会をとらえて、学校運営に生かせるようにする。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 「白沢小学校地域協議会」と連携し、各種事業の実施を通して学校経営の充実を図る。 ② 学校支援ボランティアと連携し、教育活動の充実や登下校の安全確保に努める。	B	【達成状況】 ・地域住民の肯定的回答は 100%で指標を上回った。 【次年度の方針】 ・地域協議会と連携して学校支援ボランティアの協力を得ながら地域の教育力を生かした取組を継続していく。 ・地域にある企業や専門性をもつ人材の授業参加を継続し、地域の教育力を生かした活動を推進する。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 毎月の校舎内安全点検により、危険箇所の早期発見・修繕・補修を的確に実施する。 ② 学年縦割り清掃における役割分担を明確にし、環境の維持と整備に努める。	B	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 95.9%であり指標を上回った。 【次年度の方針】 ・校内掲示計画に基づく潤いのある環境の整備や清掃時の児童への指導、また教材の有効活用を考えた保管の仕方を検討しながら学校内環境の整備に努める。 ・施設・設備の点検・修繕を定期的・日常的に行い、迅速な対応により安全な環境づくりに努める。

教育活動の状況	生活	B 1 地域との連携を大切にし、地域から学ぶ姿勢を一人一人の教職員が身に付ける。 【数値指標】 学校独自のアンケート「学校は、地域素材や人材を活用した学習を積極的に行っている」⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	① 地域探検や食農体験学習等、<u>地域素材や人材・施設を活用した学習を実施する。</u>	B	【達成状況】 ・地域住民の肯定的回答は 100%で指標を上回った。 ・本校の地域の特色を授業に生かし、全学年で地域との交流ができた。 【次年度の方針】 ・交流行事や活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう工夫を加えながら継続していく。 ・学びを地域に発信する機会を設けるなど、双方向性の交流を目指していく。
		A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 古里地域学校園や児童代表委員を中心とした朝の<u>あいさつ運動</u>を、実施し、意識化・実践化を図る。 ② 校内の「あいさつ通り」を活用するとともに、家庭と連携して指導の徹底を図る。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 94.3%で指標を上回っており、保護者・地域住民の肯定的回答も昨年度より指標を上回った。 【次年度の方針】 ・児童会によるあいさつ運動やあいさつ名人の表彰、あいさつ標語の作成を継続して更なる定着を図る。 ・懇談会や学校だよりなどを通して、学校の取組みを伝え、家庭と連携した指導を継続する。
		A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、大人に対して適切な言葉遣いをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 友だち同士で「くん・さん」づけで呼び合うことを<u>児童指導の重点目標として、毎月児童と教師が共に振り返りを行いながら、年間を通して根気よく指導する。</u> ② 言葉づかいに関する指導法を工夫して正しい言葉づかいについての意識化を図る。	A	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 85.3%で指標を下回ったが、地域住民や保護者の肯定的回答は、昨年度を大きく上回った。 【次年度の方針】 ・言葉づかいに対する児童の意識は高まっているので、毎月実施している児童と教師の振り返りを継続しながら日常的に指導する。 ・「白沢小生活の約束」に基づき、家庭と連携しながら指導を継続する。
		B 2 相手の気持ちを考え、正しく判断し行動している。 【数値指標】 学校独自のアンケート「先生方は、いつでも悩みなどの相談にのってくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 担任による「お話ししよう週間」（年2回）やスクールカウンセラーによる教育相談、教職員による事例研究会等を計画的に実施する。 ② 教育相談だよりなどを通して保護者との連携を図る。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 91%で指標を上回った。 ・児童指導の情報交換会を毎月実施した。 【次年度の方針】 ・「お話ししよう週間」や教育相談、事例研究会などを継続し、担任一人が抱え込むことなく、学校全体で児童の情報を共有しながらよりよい対応策について協議していく。 ・家庭との連携を図るために実施している保護者とスクールカウンセラーとの教育相談を今後も定期的に続けていく。
	健康・体力	A 12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 元気っ子体力チェックの結果をもとにした教科体育の充実や持久走大会、縄跳び記録会などでの「がんばりカード」を活用しながら、めあてをもって達成感を味わえるような運動を工夫する。 ② なかよしタイムや昼休みの外遊びの奨励について呼びかける。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 87.5%で指標を上回った。 【次年度の方針】 ・校内の各種記録会では児童がめあてをもって取り組む行事を継続するとともに、教科体育における検定カードやがんばりカードを有効に活用して意欲を高める。 ・計画的に行っている縦割り班遊びをよい機会ととらえて、外遊びの奨励を継続する。

学 習	A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① <u>養護教諭や栄養士、食育主任と連携した食育月間、給食週間、食育集会などを実施しながら指導の工夫・充実を図る。</u> ② 各種たよりを活用して保護者と連携し、偏食の矯正について啓発を図る。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 83.5%で指標を下回ったが、保護者の肯定的回答は昨年度を上回っている。 【次年度の方針】 - 地域学校園でのお弁当の日の実施や食育だよりの発行、食育月間、給食週間、食育集会を継続するとともにがんばりカードなどの積極的活用を図る - 懇談会や家庭訪問などの機会をとらえ、保護者と情報の共有に努め、食への啓発を促す。
	B3 健康・体力の向上を目指し、元気で安全に生活しようとしている。 【数値指標】 学校独自のアンケート 「自分の健康や安全に気をつけて生活している。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 地域の見守り隊と連携した登下校の安全確保や校内での実際に役立つ避難訓練の工夫、健康・安全に関する出前授業などを実施して安全や健康についての意識を高める。 ② 健康票や各種検定表をもとにした記録の蓄積により、体力の向上や健康への関心を高める。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 96.1%で指標を上回った。 【次年度の方針】 - 地域や保護者と連携して安全教育の充実を継続するとともに、健康や安全に関する学校行事の振り返りから活動を見直し、健康や体力への関心を高める。 - 保健学習をより充実させて児童が実感を伴って理解できるように努める。
	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業の更なる理解につながる読解力などの国語力を伸ばすため、朝の学習でのリライト教材の活用に努める。 ② 学習ルールの徹底を基盤として、<u>話の聞き方や話し方の指導に力を入れ、児童相互の学び合い活動の充実を図る。</u>	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 90.7%で指標を上回った。 - 進んで話し合いに参加し、自分の意見を安心して言える学び集団づくりに努めてきたので、教師との信頼関係も構築されてきている。 【次年度の方針】 - 学習の約束（児童）や学習指導の基本（教員）に基づいた学業指導の継続・積み上げを図りながら児童の主体的な学びを引き出し、さらなる学力向上を目指す。
	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「授業中に先生や友達の話聞くなど、落ち着いて学習している。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 「学習の約束」や古里学校園で作成した「家庭学習のすすめ」を配布し、家庭と連携して学習習慣の形成に努める。	A	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 89.6%で指標をやや下回った。 【次年度の方針】 - 児童に向き合う時間の確保や授業力・指導力の向上をめざし、児童と更なる信頼関係の構築に努めていく。 - 家庭へ配布している「白沢小学習の約束」の徹底に努め、学習習慣の定着について学年だよりや懇談会などの機会に協力を求めながら家庭と学校の連携を継続する。

本校の特色・課題等	B4 地域学校園を基盤とした交流・教育活動を実施する。 【数値指標】 学校独自のアンケート「学校は、地域学校園をはじめ、幼・保・小・中・特別支援学校との交流を大切に活動をおこなっている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 小中一貫教育部会の計画的開催や中学校や保育園、特別支援学校との交流活動を計画的に実施する。	B 【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%で指標を上回った。 ・学年の特性に応じた交流活動を計画通りに実施することができた。 【次年度の方針】 ・活動のねらいをよく検討して心の交流につながる活動になるように工夫を加えながら継続していく。
-----------	--	---	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【成果】

- ・時と場に応じたあいさつに対する児童・保護者・地域住民の肯定的回答率が上がっており、「自分から明るいあいさつ」という意識が定着しつつある。
- ・地域協議会を中心にした学校教育支援ボランティアの協力を受け、地域から学ぶ授業や地域の企業と連携した授業など、地域の教育力を生かした活動を推進することができた。
- ・年2回の「先生とお話ししよう週間」の実施、事例研究会、教職員による定期的な情報交換会の実施などによって、児童理解を深めることができた。

【課題】

- ・全員が秩序ある落ち着いた学校生活を送れるように月の重点目標の設定と児童の振り返りを継続していく。
- ・地域人材や施設の活用など、地域の教育力を生かした体験的学習や問題解決学習の更なる工夫・充実に努め、思考力や表現力を育てる。

6 学校関係者評価

- ・「あいさつは大人が一番の手本」という意識で地域ぐるみであいさつ運動に取り組んでいく必要がある。また、防犯の面からもあいさつを交わすことは重要なので、地域への呼びかけを継続していく。更に、先にあいさつできる子をもっと増やしていきたい。
- ・教職員は、今後も児童の意見を細やかに聴き取っていく姿勢を大切にしてほしい。
- ・児童が落ち着いて学習に取り組める環境づくりが重要である。校舎内外の環境整備はもちろん、きまりやマナーを守って秩序ある生活ができるように指導を継続してほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【確かな学力の育成について】

- ・年間計画表に基づいた朝の学習（プロジェクトS）の継続及び家庭と連携した学習習慣の形成の推進により、基礎・基本の定着を更に図る。
- ・校内研修などにおいて学び合い学習の指導法を研究し、児童の思考力や表現力を高めるための工夫をする。

【豊かな心の育成について】

- ・学校園でのあいさつ運動や児童会によるあいさつ強化週間の実施、時と場に応じた言葉づかいの指導を行い、保護者や地域への啓発にも取り組む。
- ・人権を意識した教育活動を継続して、自分も周りの人も大切にする態度や行動がとれるように指導する。

【健康・体力の向上について】

- ・元気っ子体力チェックの分析をもとに、教科体育の充実や休み時間の外遊びを奨励して体力づくりを推進する。
- ・家庭との協力体制を図りながら望ましい食習慣を身に付けさせる活動を工夫する。
- ・安全についての意識高揚を図るため、家庭地域と協力体制で取り組む。

【保護者・地域に開かれた学校づくりについて】

- ・保護者や地域住民に学校の様子を見ていただく機会を計画的に設けるとともに、ホームページ等による情報の積極的な発信・提供に努めて、「開かれた学校づくり」を継続する。